

科学的探究Ⅰ

リサーチクエスチョン検討会

令和2年9月25日(金) 本校

1年生全員が実施している課題研究である「科学的探究Ⅰ」で、リサーチクエスチョン検討会が実施されました。

リサーチクエスチョンとは、研究テーマをより具体化、明確化にして、検証可能な問いにしたものです。答えのない問いに対して、生徒たちの視点で、答えを模索していきます。具体化、明確化は非常に難しく、前女生は知恵を絞りあって、あいまいな箇所がないか？本当に検証可能なのか？など、お互いに質問しあうことで、よりよいリサーチクエスチョンを目指しています。

これまでの活動は、提示された8つのあいまいな研究テーマから、テーマ毎に班分けをしました。テーマ例をあげると「よく飛ぶ紙飛行機って？」があります。しかし、「よく飛ぶ」ってなんのでしょうか？より長距離？より高い？それとも、よく回る？このように、あいまいな箇所を定義しながら、また、それを検証するためには、どんな実験方法がよいか考えながらオリジナルのリサーチクエスチョンを作っていきます。スタート地点は8つしかありませんでしたが、現在は、班の数だけリサーチクエスチョンが生まれ、同じものはなくなります。

本日のリサーチクエスチョン検討会では、自分たちの考えたリサーチクエスチョンを他班の生徒に発表します。発表は全員行います。発表方法は1対1ペアになり、発表と質問を交互に行います。質問者は発表されたリサーチクエスチョンをよく吟味し、あいまいに感じる箇所を指摘したり、具体的な検証方法はどうか？などを質問します。発表者は、質問に答えながら、気づきやアイデアを得ることができ、リサーチクエスチョンをより具体化、明確化させることができます。

